変額保険

グローバルミックス

特別勘定の月次運用レポート

2026 年 6 月度

＜目次＞

1. 運用環境の主な状況 1 ページ
2. 特別勘定の運用方針/運用状況 2 ページ
3. ［参考情報］投資信託の運用実績・状況 3-6 ページ
4. 当保険商品の注意事項 7 ページ

［引受保険会社］

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-568-093
平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00
(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)
www.axa.co.jp

■ 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。
■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

⚠ 本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。
そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクについては本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

運用環境の主な状況

（2026年6月末現在）

■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は前月末比+0.95%の3,994.76ポイントとなりました。月初は米雇用統計が市場予想を上回ったことを受け、米国の大型ハイテク関連株を中心に下落し、日本市場にも波及しました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて原油価格が下落したことが好感され、上昇しました。月末にかけては、AI（人工知能）・半導体関連株を中心に下落したものの、月間では上昇となりました。

日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場では、NYダウ工業株30種が前月末比+2.52%の52,319.20ドルとなりました。月初は米雇用統計が市場予想を上回ったことを受けて米国金利が上昇し、大型ハイテク関連株を中心に下落しました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて原油価格が下落したことが好感され、上昇しました。月末にかけては、AI・半導体関連株を中心に下落したものの、ヘルスケアや資本財・サービスセクターが底堅く推移したことから、月間では上昇となりました。

欧州株式市場では、独DAX指数が前月末-0.43%、仏CAC40指数が前月末比+2.70%となりました。独DAX指数は月初に米雇用統計が市場予想を上回ったことを受け、半導体関連株を中心に下落しました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて原油価格が下落したことから上昇しました。月末にかけては、大手自動車メーカーが業績見通しを引下げたことが重荷となり下落し、月間では下落となりました。一方、仏CAC40指数は米イラン紛争を巡る暫定合意を受けて、中旬以降は金融などの景気敏感株を中心に上昇となりました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は上昇しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には2.683%となりました（前月末2.667%）。6月の日銀金融政策決定会合では、市場の予想通り0.25%の利上げが実施され、政策金利は1.0%となりました。また、今後の追加利上げへの警戒感が継続したことから、金利は上昇基調で推移しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、米10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には4.465%となりました（前月末4.436%）。月初は米雇用統計が市場予想を上回ったことを受けて金利が上昇しました。また、6月のFOMC（連邦公開市場委員会）では、年内利上げを見込む参加者が増えたことを受け、FRB（連邦準備制度理事会）による年内利上げ観測が高まりました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受け金利が低下する場面もありましたが、月間では上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は低下（価格は上昇）し、月末には2.860%となりました（前月末2.938%）。月初は米雇用統計が市場予想を上回り米金利が上昇したことに加え、米イラン情勢を巡る懸念を背景とした原油価格の上昇が、金利を押し上げました。その後は、米イラン紛争を巡る暫定合意を受け金利が低下に転じ、月間では低下しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比+3.00円の162.39円となりました。米国と日本の長期金利はともに上昇したものの、米国の長期金利の上昇幅が日本を上回り、日米の長期金利差が拡大したことや、FRBによる利上げ観測が高まったことがドル高の要因となり、ドルは対円で上昇しました。

ユーロ/円相場は前月末比-0.31円の185.35円となりました。欧州の長期金利が低下する一方、日本の長期金利が上昇したことから日欧の長期金利差が縮小し、ユーロは対円で下落しました。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用方針/運用状況

(2026年6月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。
運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。
（特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社が行います。）

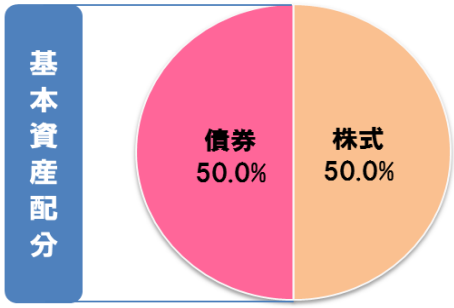
■ 利用する投資信託

委託会社…アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド
投資信託…セレクション・ジャパン・エクイティ

委託会社…BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社
投資信託…アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉

■ 特別勘定のINDEXの推移

※特別勘定のINDEXは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



INDEX	騰落率（%）					
2026年6月末	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.984	1.01	8.98	7.99	14.17	30.24	98.44

※特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

銘柄		金額	%	参照頁
現預金・その他		2,758,941	4.8	―
株式	セレクション・ジャパン・エクイティ	14,888,867	25.8	P.3
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉	8,835,378	15.3	P.4
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉	6,025,135	10.4	P.5
債券	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉	25,257,370	43.7	P.6
合計		57,765,693	100.0	―

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株式プラス型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

セレクション・ジャパン・エクイティ
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Selection Japan Equity Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。（委託会社は本ファンドの運用について野村アセットマネジメントを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

1,821.00 億円

■ 設定日

2021年4月21日

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.93	23.63	26.66	57.10	93.80	129.71

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数:　87

	銘柄	%
1	SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	5.90
2	TOKYO ELECTRON LTD	3.93
3	SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES	3.47
4	ADVANTEST CORP	3.14
5	TAIYO YUDEN CO LTD	3.04
6	SOMPO HOLDINGS INC	2.87
7	IBIDEN CO LTD	2.85
8	SONY GROUP CORP	2.77
9	MITSUI & CO LTD	2.72
10	TOYOTA MOTOR CORP	2.58

■ 株式組入上位5業種（%）

1	資本財・サービス	23.26
2	情報技術	21.28
3	一般消費財・サービス	20.07
4	金融	18.69
5	素材	5.75

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（Ａ）〈適格機関投資家私募〉

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

88 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

S&P500種株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

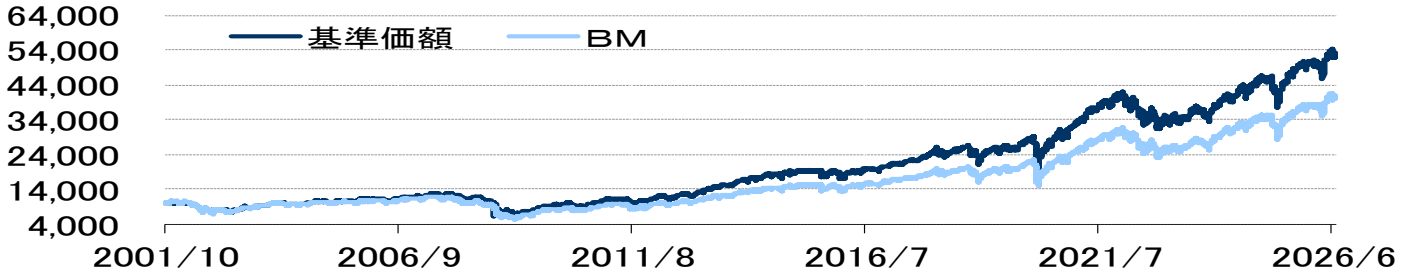
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 2.13	15.39	3.54	14.30	43.50	425.99
BM	△ 1.91	16.35	5.98	16.16	46.66	305.60
差異	△ 0.22	△ 0.96	△ 2.44	△ 1.86	△ 3.16	120.39

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社に帰属しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：197

	銘柄	国名	業種	%
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	7.61
2	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.70
3	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	5.75
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.39
5	AMAZON.COM INC.	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.56
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.95
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.88
8	TESLA,INC.	アメリカ	自動車・自動車部品	1.61
9	MICRON TECHNOLOGY INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.53
10	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.40

■ 株式組入上位5業種（%）

1	半導体・半導体製造装置	18.61
2	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	11.26
3	ソフトウェア・サービス	10.49
4	資本財	9.76
5	メディア・娯楽	8.46

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（Ａ）〈適格機関投資家私募〉

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

60 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

MSCI欧州株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

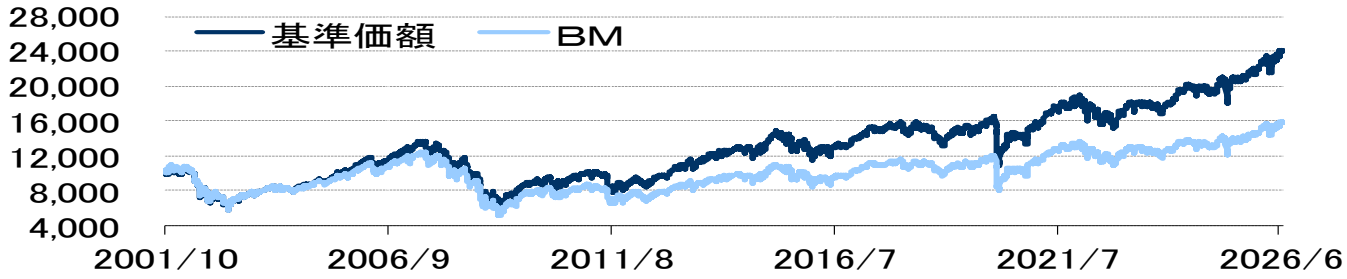
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.55	10.18	7.91	15.87	34.23	139.78
BM	2.14	9.48	7.15	15.11	25.46	58.58
差異	0.41	0.70	0.76	0.76	8.78	81.20

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：160

	銘柄	国名	業種	%
1	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	5.47
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.85
3	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.49
4	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.14
5	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.01
6	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	2.00
7	ALLIANZ SE	ドイツ	保険	1.91
8	ABB LTD	スイス	資本財	1.77
9	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	1.59
10	ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス	保険	1.56

■ 株式組入上位5カ国(％)

1	イギリス	19.26
2	スイス	15.81
3	フランス	15.39
4	ドイツ	15.06
5	オランダ	10.76

■ 株式組入上位5業種(％)

1	資本財	17.82
2	銀行	15.00
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	13.55
4	保険	8.33
5	半導体・半導体製造装置	7.20

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年6月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

254 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックス

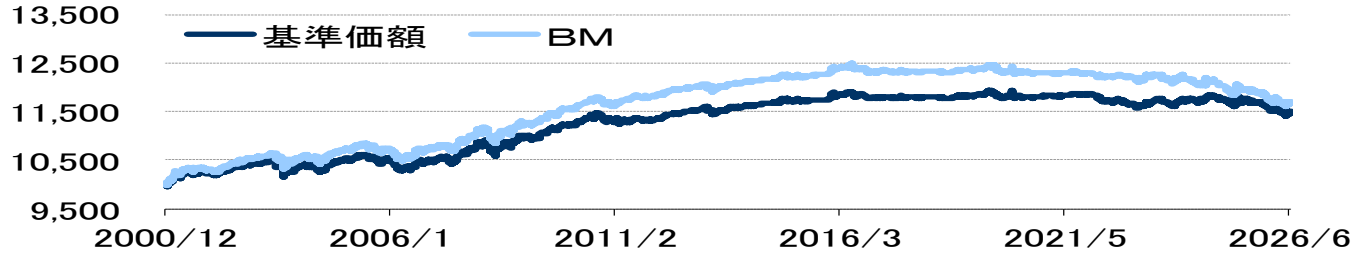
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.25	△ 0.13	△ 0.66	△ 2.18	△ 2.27	14.88
BM	0.19	0.06	△ 0.50	△ 2.29	△ 4.69	16.89
差異	0.07	△ 0.19	△ 0.16	0.11	2.42	△ 2.01

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	第381回利付国債(10年)	日本	A1	A+	8.97
2	第382回利付国債(10年)	日本	A1	A+	6.60
3	第370回利付国債(10年)	日本	A1	A+	4.70
4	HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	3.70
5	第10回ロイズ・バンキング・グループ	イギリス	A3	A-	3.36
6	第184回利付国債(5年)	日本	A1	A+	2.99

■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	1.14
A	85.16
BBB	13.71
BB以下(無格付含)	0.00

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	1.38%
平均利回り	2.17%

■ 債券種別構成比率(%)

国債	34.46
地方債	0.73
特殊債・財投債	0.10
金融債	0.00
社債等	62.67
その他	0.00
短期資産等	2.05

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。
※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

注意事項

⚠ 変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

⚠ 変額保険のリスクについて

①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。